

山や崖、川や水路には

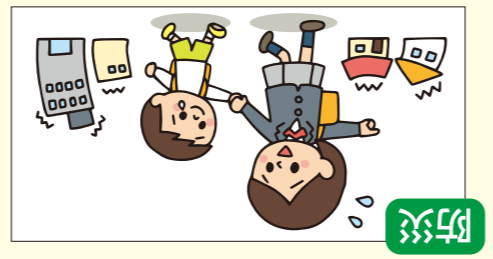
答えはこちらから

QRコード

大雨が降ったら

地震が起ったら

場所に身を寄せる



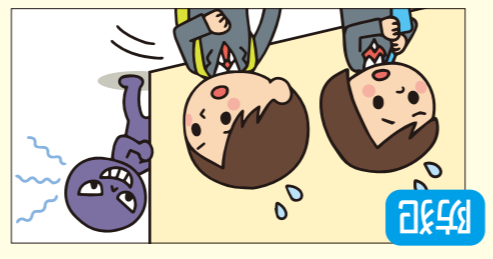
①すぐに

②大きな声で

③必ず警察に通報し、学校にも連絡する。

知らない人がついてきたり、連れていかれそうになったら

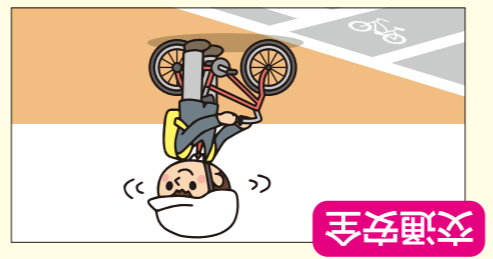
誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所には



歩いているときだけでなく、自転車に乗っているときも

を忘れないために、こういう場面で自分の行動が危険なものとなるのか、日頃から考えておこう。

※自転車は「車の仲間」です。自分が「加害者」とならないように、交通ルールを守りましょう。



どうすれば安全に登校(生活)できるかな?

3 自分の安全を守る方法を身に付けよう!

考えてみよう! ~中学生のみなさんへ~

避難所の様子を見よう
(たかつき安全ノートP.36)

避難所は、災害発生時に自宅で生活できなくなった被災者が一定期間過ごすための場所です。避難所での生活は普段の生活とは大きく異なり、さまざまな制限を受け入れて生活しなくてはなりません。そのため、ルールを守り、役割分担をして助け合うことが大切です。避難所生活の様子について考えてみましょう。

Q1. あなたの避難所はどこですか。

Q2. 災害発生時、避難所への避難が必要なのはどのような状況のときでしょうか。

Q3. 普段の生活と避難所での生活を比べてみましょう。

	普段の生活	避難所での生活
食事		
睡眠		
衛生面		

(衛生面…トイレ、お風呂、ゴミの処理など)

セーフティボランティアさん

通学路や校門のちかくで、みんなが安全に学校に通えるよう見守ってくれています。緑のベストや腕章が目印だよ。

「こども見守り中」の旗

みんなを見守ってくれている人が、街中にいることを知らせてくれています。たくさんの人に旗を掲示してもらえたら、地域の安全安心にもつながるね。

地震や大雨が発生したときに、状況が変わりやすい場所

大雨

地震

例えば…

- 古びていたり、高さのあるブロック塀の側
- 古く、手入れがなされていない住宅の側
- 崖の近く
- 河川敷や水路沿い

防災

誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所

例えば…

- 人通りの少ない道路やトンネル
- 落書きやゴミがそのままにされている場所
- 空き家と思われる住宅

まとめると…

誰もが「入りやすく」、誰からも「見えにくい」場所

防犯

「飛び出し」が発生しやすい場所

例えば…

- ワゴン車や自動販売機、草木などがあり、見通しが悪い交差点
- 信号機のない横断歩道
- 歩道がない道路、お店や駐車場沿いの道路
- 車と車の間

まとめると…

「飛び出し」が発生しやすい場所

交通安全

どんな危険があるのかな?

1 校区の危険箇所を知ろう

校区安全マップの使い方



2 自分の校区を確認しよう


川西中学校

1 **交通安全**



通勤通学の自転車の往来が非常に多く、横断歩道の横断に注意が必要。

2 **防犯**
防災



夜は暗く人通りも少ない。雨が上がった後も注意が必要。

4 **交通安全**



歩道橋下は特に自転車の通行が多いため、「止まれ」でしっかり確認が必要。

3 **防犯**




トンネル内は薄暗く、日中は人の往来が少ない。

5 **防災**



「あじやりの森」横の水路。夏場や雨の日は、水深が深く流れもあるため危険。

6 **防犯**



「あじやりの森」周辺は人通りが少ない。街灯も少なく暗いので危険。

7 **交通安全**
防災



阪急電車の高架下。歩道はせまく自転車1台分しか通れない。雨が降った後は道路中央に水が溜まりやすく大変危険。

10 **防犯**
防災



清水池。夜は暗く、人通りも少ない。また、水深もあり、水が濁っているため底が見えにくい。

11 **交通安全**



清水池横の見通しが悪く、交通量も多いため注意が必要。

8 **交通安全**



人通りが多く、交通量も多いため注意が必要。

12 **交通安全**



清水池公園内階段。階段の横にあるコンクリートが、急で滑り止めもなく、階段途中で途切れている。

9 **交通安全**



見通しが悪く、交通量が多いため注意が必要。



〒 郵便局

地震発生時の避難場所 ()